

平成30年11月19日

智頭町議会議長 谷口 雅人 様

民生常任委員長 河村 仁志

委員会視察調査報告書

本委員会の調査事件について視察調査を実施したので、智頭町議会会議規則第77条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 期 日

平成30年10月26日（金）

2. 調 査 地

- (1) 奈良県生駒市東新町8-38 「奈良県生駒市役所」
- (2) 奈良県生駒市北新町3-1 「デイサービスセンター幸楽」

3. 調査目的

- (1) 生駒市における訪問看護及び介護予防の取組みについて
- (2) 通所型サービス（パワーアップPLUS教室）について

4. 調査委員

全委員6名

河村仁志、安道泰治、岸本眞一郎、大河原昭洋、都橋一仁、大藤克紀

5. 調査概要及び感想

生駒市では、平成27年から、介護予防・生活支援サービス事業・一般介護事業に力を入れて取り組み、その対策として「パワーアップPLUS教室」を行い、要介護認定率の低減に大きな成果を上げている。

パワーアップPLUS教室は、通所型サービスと訪問型サービスがあり、今回は、「デイサービスセンター幸楽」での通所型サービスを視察。

マシンを使ったりハビリや、いきいき百歳体操など、様々なメニューを、3ヶ月を目途として行っているが、卒業された高齢者の方が、ボランティアでこの事業を手伝いに来られている姿を見て、高齢者の可能性は無限大だと感じた。

町政の重要課題である福祉の、介護予防を目的とした取り組みに要支援者の参加を増やすことで、要介護になる率を低下させ、いきいきと自立し健康寿命を延ばす事につながると思う。特に男性の方が多く参加されている事が印象的であった。

智頭町における高齢化の進展と、介護サービスの利用者の増加が予想される中で、デイサービスも、病院・福祉課・社会福祉協議会が三位一体である強みを生かして大きな成果を上げていく福祉行政に資する取り組みであると感じた。